

2023年8月23日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名	腹膜妊娠の術前診断に関する検討：後方視的研究
対 象	2015年1月から2023年12月までに兵庫県立尼崎総合医療センターにて腹膜妊娠と診断された患者さん。
研究期間	承認日から2023年12月31日までを予定しています。
研究目的	腹膜妊娠は全妊娠の約0.01%、異所性妊娠の約1%の頻度であり、比較的稀な疾患です。着床部位が腹腔内の様々な部位であるためか、術前診断は困難であり、破裂による腹腔内出血を来し、緊急手術を行った際の術中診断になることがあります。今回、術前診断を得る確率を向上させ、母体予後を改善するために研究を計画しました。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、(1)母体年齢、(2)未婚/既婚、(3)経妊、(4)経産、(5)不妊治療の有無、(6)腹部手術既往、(7)異所性妊娠既往、(8)紹介の有無、(9)初診妊娠週数、(10)当院初診週数、(11)初診時血中hCG値、(12)治療前血中hCG値、(13)治療開始までの日数、(14)術前超音波検査・MRI検査の所見、(15)術中所見、(16)術中出血量、(17)輸血の有無があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 産婦人科 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2-17-77 TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001 研究責任者：産婦人科 高石侑